

1. 3月全国行事

- | | |
|---------------|-----------|
| 1) 春の全国火災予防運動 | 3月1日～3月7日 |
| 2) 建築物防災週間 | 3月1日～3月7日 |
| 3) 車両火災予防運動 | 3月1日～3月7日 |

2. 安全・衛生・防災の心得 : 職場の表示・標識類を見直そう

3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

4. 他社の事故・災害事例から : 旋盤機が不意に回転して重傷

5. 今月のヒヤリハット

1. 3月全国行事

1) 春の全国火災予防運動

2015年度標語

「無防備な 心に火災が かくれんぼ」

2. 安全・衛生・防災の心得 : 職場の表示・標識類を見直そう

危険を表したり注意を促す「標識」や「表示」は、職場の安全を確保するために大変重要な役割を果たしており、労働安全衛生法等でも、その使用や活用が決められています。また、標識・表示が法令やJISで定められている場合はそれに則って行います。

標識や表示は、貼ったまま、設置したまましていると、汚れや色あせなどで見えにくくなったり、また、表示内容が現場やその作業にそぐわなくなったりして、表示がその役割を果たさないばかりか、かえってミスを誘う場合もあります。

事業場や職場の標識や表示が有効に機能しているかどうかチェックし、手入れや、取り替え、標識の周りの整理・整頓を行うなどして、標識・表示を安全確保に活用していきましょう。

標識・表示のチェックポイント

- ①汚れていたり、色あせていないか。
- ②はがれかかっていたり、傾いていないか。
- ③周りに荷物などが置かれて見えにくくなっていないか。
- ④化学物質のラベル等は正しく貼られているか。
- ⑤通路の白線等が消えかかっているか。
- ⑥期間が過ぎたり、不要な掲示物は貼られていないか。
- ⑦表示方法が法令等で決められた標識は、決められた方法で表示されているか。



3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

①関西事業部九州

薬品倉庫内に毒劇物のラベルが置いてある。



②伊丹工場

特化物100L以上の漏洩警報装置。



4. 他社の事故・災害事例から : 旋盤機が不意に回転して重傷

<災害のあらまし>

機械工場で、作業員(男性55歳、経験35年)が旋盤機を用いて旋盤作業中、加工が終わった加工物を外しているとき、主轴が不意に回転したため、加工物が飛び出し、作業員の頭部に当たり、頭蓋骨骨折の重傷を負い、一部身体機能障害になりました。

<災害の主な原因>

- ①体の一部が操作レバーに触れたため、機械が不意に回転したこと。
- ②加工物の取り出し時に、メインスイッチを切っていなかったこと。
- ③被災者は長年メインスイッチを切らない方法でこの作業を行っていたが、過去には問題が発生せず、先輩や上司等も黙認していたこと。

<同種災害の防止対策 例>

- ①加工物を取り外すときは、必ずメインスイッチを切る。
- ②操作レバーなどに体が触れたりして、不意に動かないようカバーを設置する。
- ③一旦停止後は再起動スイッチにより起動させる等の安全構造にする。
- ④加工物の脱着時は、刃物台、心押台は十分遠ざけておく。
- ⑤熟練者は長い間の経験や習慣から、作業手順や安全手順のステップを省略したりすることがある。本人はもとより、回りの者も注意する。

5. 今月のヒヤリハット:各事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

「作業の周囲は すっきりと 未然に防ごう 転倒事故」

事例	足場に足が引っ掛かり、倒れそうになった。
どこで	化成工場。
あらまし	化成ライン前の足場に乘ってワークにシャワーをかけようとした時、足場に足が引っ掛かり倒れそうになった。
原因	足元をよく確認しなかった事。
教訓・対策	足場等、転倒の要因物のある作業場では、常に足元を確認する事。

6. その他

<省エネについて>

必要な場所では点灯を行い、不必要な場所は消灯を行うなど、無理のない省エネ活動を行って下さい。

「無限じゃないぞこの資源 一人一人がエコ活動」 H27年環境保全最優秀作品